



美術品輸送60周年 特集号

美術品に関わるステークホルダーをつないで課題を解決し、新しい芸術・文化の価値と市場を創出

<CONTENTS>

- 1. 美術品輸送カンパニー プレジデントインタビュー…………… 1
- 2. 美術品輸送60年のあゆみ…………… 3
- 3. 2018年度の取扱い展覧会…………… 4
- 4. 専門技能員インタビュー…………… 4
- 5. 梱包技術の紹介…………… 5
- 6. 美術品輸送カンパニーのサポートサービス…………… 6
- 7. ヤマトグループのその他のトピックス…………… 6

1. YGL美術品輸送カンパニープレジデント インタビュー

ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社 (YGL)
 執行役員 美術品輸送カンパニー
 プレジデント
 羽住 昭彦



Point

- (1) 成長するアート市場と芸術・文化の後退への危機感を背景とした、新たな取り組み
- (2) ステークホルダー同士をつなぎ、新しい芸術・文化の価値と市場創出に貢献

(1) 成長するアート市場と芸術・文化の後退への危機感を背景とした、新たな取り組み

現在ヤマトグループは、中期経営計画「KAIKAKU 2019 For NEXT100」に取り組んでいます。私たち美術品輸送カンパニーも、ヤマトグループと日本の芸術・文化の次の100年を見据え、新たな取り組みとして「ランドマーク構想」をスタートさせました。

実はヤマトグループの美術品輸送の歴史は宅急便よりも古く、今年で60周年を迎えました。最初の仕事は、1958年の「インカ帝国文化展」の作品輸送でした。1972年からはプロ野球球団の野球用具輸送なども行っていますが、事業の中心は、やはり美術品の輸送です。

YAMATO HOLDINGS CO., LTD.

現在では、年間約800件の展覧会を手掛け、全国13拠点に237名の美術品専用スタッフ(内、美術品梱包輸送技能取得士67名)、美術品専用倉庫、美術品専用車をそろえ、展覧会の作品や貴重な文化財などの輸送、作品の保管、アートコミュニティの運営なども手掛けています。

私たちが長年携わってきた美術業界は、文化庁などの資料によれば市場規模も安定しており、GDPから推測すると成長の余地がまだあります。しかし、一方で美術品を収蔵する保管スペースや、美術館の予算の問題等、多くの課題を抱えています。

これまでヤマトグループでは、お客様から寄せられるこうしたお困り事に個別に対応してきましたが、対応できるお客様の数には限りがあります。

同様に美術業界でも、単独で解決できるものが少なく、個々の対応には限界があります。

私たちは、これらの課題が解決しなければ、美術業界の市場成長はおろか、日本の芸術・文化の後退を招きかねないのではないかと、という危機感を抱いています。では、どうすればいいのか。そこから生まれたのが、新たな取り組みである「ランドマーク構想」です。



(2)ステークホルダー同士をつなぎ、新しい芸術・文化の価値と市場創出に貢献

「ランドマーク構想」の核となるのが、「芸術に携わる全ての人に高品質の安定したサービスを提供し、日本の芸術・文化の発展に貢献する企業になる」という私たちのビジョンです。

この構想は、ヤマトグループが中期経営計画の中で、更なる進化を目指して取り組んでいる「バリュー・ネットワーキング」構想(VNW構想)をベースとしています。VNW構想は、物流をコストから「バリュー(付加価値)」を生み出す手段に進化させ、「物流の最適化」を実現するものです。

これを私たちの事業分野に当てはめると、例えば作品を保管するコストを、保管するだけでなく、見る・見せる、貸す・借りる、売る・買うを実現することで、すべての作品を「バリュー(付加価値)を生み出す手段」に進化させ、課題解決と市場の成長に貢献したいと考えています。

現在多くの美術館では、所蔵作品の増加や、建物の改修・災害時などの作品の保管場所の確保が大きな課題となっています。保管場所に悩む個人コレクターも数多く存在します。

また、展覧会をやりたくても、予算などにより思うようにできないという美術館が存在します。一方で、作品を見てもらいたいと望む作家やコレクターも多くいます。

そのような環境の中、私たちが目指すのは、事業活動を通じてステークホルダー同士をつなぎ、作品や人を循環させることでお困りごとを解決することです。これにより新しい芸術・文化の価値と市場を創出し、持続的発展に貢献できると考えています。

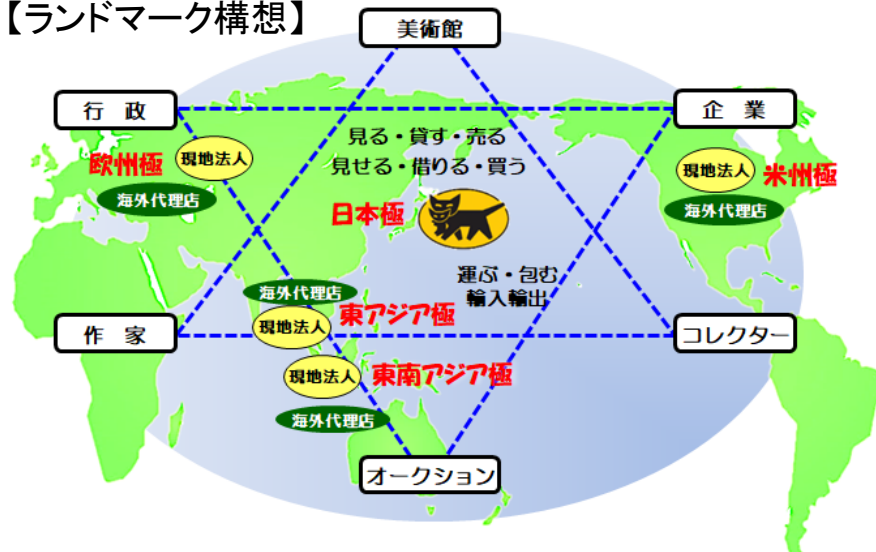
この構想は日本国内だけでなく、グローバルにも展開していきます。例えば、東京でオリンピックが開催される2020年に向けて、日本の芸術・文化を海外にアピールする動きが

活発になっています。日本各地には魅力的な伝統工芸品が数多くありますが、海外では知られていないもの、販売ルートがないものもあります。

そこで、ヤマトグループの海外現地法人や海外の代理店と連携し、安全な輸送や販路を提供すればどうでしょうか。日本の文化を海外に発信する手助けとなるとともに、地方の活性化に貢献することもできるでしょう。

ヤマトグループの社訓に「運送行為は委託者の意思の延長と知るべし」とあります。私たちは「お客さまの意思」すなわち「日本の芸術・文化の発展」に対して、輸送事業者としてはもちろんのこと、美術品に関わる全てのステークホルダーにとってなくてはならないパートナーとして、「ランドマーク構想」を通じて貢献したいと考えています。

【ランドマーク構想】



「ランドマーク構想」とは、ヤマトグループの美術品輸送カンパニーが、ステークホルダーの中心としてお客様同士をつなぎ、お客様の課題解決を行います。

- ①海外ネットワーク、
 - ②国内ネットワーク、
 - ③施設
- を連携し、地方活性化・グローバル展開、收藏サポート、新規コンクール展開プロデュース、イベント開催支援のサービスなどにも取り組んでいきます。



2. 美術品輸送60年のあゆみ

美術品輸送事業とは…

絵画・彫刻などの美術品の輸送・梱包・展示などのサービスを提供しています。輸送は国内外を問わず、輸出入通関業務の代行といった輸送以外の業務にも対応します。お客様は法人・個人、国内・海外を問わず幅広く、海外の美術館から指名で仕事をいただくこともあります。美術品だけでなく、化石や剥製、楽器、貴重図書なども運びます。

特徴

取扱いは 美術品専門技能員

- 美術品のみを取り扱う専門の技能員が業務に従事
- 公益財団法人日本博物館協会認定資格である
美術品梱包輸送技能取得士 67名
- 展覧会が複数会場を巡回する場合は
同じスタッフが取扱いを行う
- 指名で案件をいただくことも

保管は 美術品専用倉庫


- 24時間空調稼働（定温定湿）
- 水を使わない消火設備（ハロゲン化物消火／
二酸化炭素消火／窒素ガス消火）
- 高セキュリティ（24時間警備）
- 美術品のための専用倉庫
- 美術館・博物館相当の設備

輸送は 美術品専用車

- ダブルキャビン（後部座席装備）
- 荷室内に空調設備あり（定温定湿）
- 警報機付
- エアサスペンション装備
- テールゲート



サービス紹介

主催者向け	企画展輸送サービス	経験豊富な美術品輸送取扱いの専門スタッフが、美術館・博物館の企画展の開催を支援。
	公募・コンクール展 事務局サポートサービス	出品者の応募受付から返却まで、煩雑な公募展運営の業務をすべて代行。
法人個人向け	収蔵サポートサービス	美術館・博物館・企業・画廊・個人が所有する作品を、空調・セキュリティ万全の倉庫にて保管。
	美術品研修開催 サポートサービス	大学・美術館・博物館での講義や実習を通して、美術品の取扱いに関わる研修の開催を支援。
	美術便(国内・海外)	貴重な美術品や文化財の、梱包から輸送までをトータルサポート。 国内外のネットワークにより安全に輸送。
作家向け	公募・コンクール展 搬入出代行サービス	ご自宅から会場への往復を、専門スタッフが責任を持って輸送。
	個展プロデュース	作品の制作に専念していただけるよう、個展やグループ展の開催をサポート。
	クロネコアート メンバーズ	 美術品輸送カンパニーが運営する、アートコミュニティ。

YGL美術品輸送事業60年史

- 1950年代 駐留軍関係の家財の
梱包輸送業務を実施
- 1958年 美術品輸送事業開始
5月8日開催の「インカ帝国文化展」
(主催:読売新聞社)の輸送取扱い
を担当。ペルーより船便にて輸入。
- 1972年 野球用具輸送開始
シーズン後半より読売巨人軍の
野球用具や選手手回り品の輸送
を開始。(各地の球場～球場間)
- 1981年 「大ヴァチカン展」取扱い
ヴァチカン市国より作品120点を輸入、
全国8会場を巡回。終了後にはそごう
美術館とヴァチカン美術館より感謝状
をいただいた。
- 1987年 ゴッホの『ひまわり』輸送
旧:安田火災海上保険(株)
(現:損保ジャパン日本興亜)がオー
クションにて落札したゴッホの『ひま
わり』の国際間輸送を担当。
- 1994年 「バーンズ・コレクション展」
取扱い
国立西洋美術館にて開催された本
展を取扱い。世界最高峰の個人コレ
クションでありながら門外不出とされ
ていた2500点以上の作品から80点
を展示。入場者100万人以上。
- 2000ー
2001年 NHK主催 四大文明展
同時開催の内「エジプト展」
並びに「メソポタミア文明展」を
担当
- 2011年 東日本大震災
文化財レスキュー活動
- 2012年 「ツタンカーメン展」取扱い
- 2014年 美術品梱包輸送
技能取得士
日本初の1級取得



3. 2018年度の取扱い展覧会

2018年度の取扱い実績・予定の中から、主要なものを紹介します。

- 2018年2月14日～9月24日
至上の印象派展 ビュールレ・コレクション
国立新美術館他巡回
- 2018年2月24日～10月14日
プラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光
国立西洋美術館他巡回
- 2018年4月14日～10月14日
プーシキン美術館展 旅するフランス風景画
東京都美術館他巡回
- 2018年4月28日～7月1日
ターナー 風景の詩
東郷青児記念
損保ジャパン日本興亜美術館
- 2018年6月19日～9月24日
ミケランジェロと理想の身体
国立西洋美術館
- 2018年9月26日～12月17日
ピエール・ボナール展
国立新美術館
- 2018年10月5日～2019年5月12日
フェルメール展
上野の森美術館他巡回
- 2018年10月6日～2019年1月20日
カタストロフと美術のちから展
森美術館
- 2018年10月7日～12月24日
国立ロシア美術館所蔵 ロシア絵画の至宝展
東京富士美術館
- 2018年10月17日～2019年2月11日
全員巨匠 フィリップス・コレクション展
三菱一号館美術館



それは、このうえもなく優雅な事件。
フェルメール展
Making the Difference: Vermeer and Dutch Art
2018.10.5^{THU}～2019.2.3^{SUN} 上野の森美術館 日時指定入場制



至上の印象派展

4. 専門技能員インタビュー

Q. 美術品輸送の仕事を目指したきっかけは何ですか？

(中村)入社当時はこの仕事を知らませんでした。携わっていくうちに奥深さと大切さを知り、この道を邁進したいと思うようになりました。

(名田)美術大学で美術を専攻しており、実際に本物に触れることのできるこの仕事を知って、志望しました。

Q. 今までどんな案件を経験してきましたか？

(中村)時代で言えば、白亜紀の恐竜の化石から現代まで。絵画・彫刻といったポピュラーなものから、隕石やミイラなどの一般の方が触れることができないものまで、取り扱ってきました。

Q. 仕事のやりがいは何ですか？

(中村)輸送の計画から美術品の借用、展覧会の開催に至るまで、様々な関係者と思いを共有しながら準備し、開催できた時の達成感も共有できることです。

そのためには、お客様の思いや要望をしっかりと聞き、自分達の力でそれを実現できるよう工夫することが大切だと思っています。

Q. 搬出・搬入の際に一番気をつけることは何ですか？

(名田)美術品の「どこを持つべきか」を事前にお客様にきちんと確認し、把握しておくことが必要です。中には、持ちやすい箇所でも、過去の輸送により脆弱になっている場合があります。

その時に、「代わりにどこを持つべきか」を考え、確認することが大切です。

Q. 仕事をする上でこれは譲れない、ということは何ですか？

(名田)スピードよりも、安全第一で作業することです。

少しでもリスクがあることは避け、集荷から返却に至るまで、「元の形を保ったまま元の位置に戻す」ということを確実にしたいと思っています。



中村 功(なかもら いさお)
YGL美術品輸送カンパニー
マネージャー

勤続36年
長年培った技能の継承のため、社員教育に指導員として携わる。近年では、公益財団法人日本博物館協会による「美術品梱包輸送技能取得士」認定試験制度の構築に向け当初よりアドバイザーとして参画するなど幅広く美術品事業に貢献。



名田 恒治(なた つねはる)
YGL東京美術品支店

勤続21年
美術品梱包輸送技能取得士1級
【担当した展覧会】
■奈良・国宝 室生寺の仏たち展
■オルセー美術館・オランジュリー美術館所蔵 ルノワール展
■日本近現代工芸の精華展
イタリアピッティ宮殿(フィレンツェ)



5. 梱包技術の紹介

(1) 仏像の梱包 所要時間:約1時間(※案件によって異なります)

①複数名で声をかけ合って作業するため、マスクを着用します。事前に所蔵者様と確認した内容などをもとに、仏像をよく観察し、養生梱包を施していきます。



②仏像の大きさや特徴に合わせて1つひとつ手作りにした木枠に納めます。



⑤蓋をしてビスで固定したら完了です。



④オリジナルで作成した木箱に、木枠ごと納めます。



③部分的に負担がかからないよう、サランを用いて丁寧に固定します。

(2) 絵画の梱包 所要時間:約30分(※案件によって異なります)

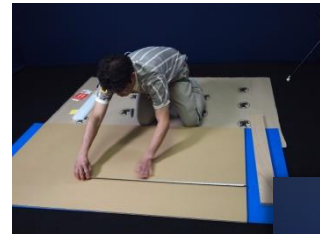
①ガラスに飛散防止テープを貼ります。



②薄葉紙や複数の包装材を組み合わせて包みます。



③絵画の大きさに合わせて、専用の箱を作ります。



④箱に納め、ラベルを貼り完了です。





6. YGL美術品輸送カンパニーのサポートサービス

芸術・文化の発展に欠かせない土壌づくりの一環として、学生向けの美術品取扱梱包研修、アーティストのためのコミュニティ運営などを行っています。

(1)美術品研修開催サポートサービス

学芸員資格取得課程のある大学の「博物館実習」サポートとして、学生に対して美術品取扱梱包研修を行っています。

たとえば、博物館学課程で学芸員資格の取得を目指す学生を対象に、仏像の手のレプリカを薄葉紙を緩衝材にして包んだり、茶碗を包む綿枕を作ったり、絵画の展示作業を行うなどの実践的な研修プログラムを提供します。



(2)クロネコアートメンバーズ(アーティストのためのコミュニティ)

個展輸送や展示を承り、作家の方と話をしながら関わっていく中で、もっと彼らに対する支援ができないだろうか?という思いから始まった、YGLが運営するアーティストのためのコミュニティです。会員の活動情報の発信や、「アソシエイト展」を通じた展示販売の機会を提供しています。

「アソシエイト展」は、作家の皆さまに気軽に発表していただきたい、展示会を通じて、新たな出会いを創っていただきたい、という思いのもと生まれた、YGL主催の参加型交流展です。東京・名古屋・大阪・福岡等で開催しています。詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.y-logi.com/service/art/artmembers.php>



(3)東京2020関連輸送

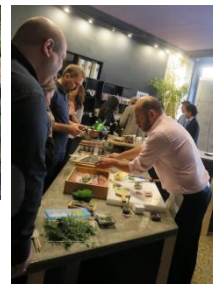
2017年7～8月に、東京2020オリンピック・パラリンピックのマスコット公募開始のセレモニーで使用する銅鑼(どら)の輸送を行いました。同セレモニーでは、文化庁長官の宮田亮平氏をご自身で作られた銅鑼を鳴らす予定となっていたため、千代田区の文化庁長官室から、会場である東京都台東区の蔵前小学校への輸送と、セレモニー終了後の文化庁への返却を担当しました。銅鑼は重量があり、木枠にぶら下がっている状態であったため、落下しないよう固定するなど、梱包を工夫しました。また、小学校に大勢いらっしゃった小学生や保護者の方々にケガや事故が無いよう気を配り、無事に完了することができました。

<ヤマトホールディングスは東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナーです。>

7. ヤマトグループのその他のトピックス

(1)ヤマトグループと日本航空が連携し、フランスで日本の新鮮な農水産物を販売

両社は、日本の農水産物のフランスへの輸送および販路一体型となるプラットフォーム構築に向けた協業プロジェクトの第一弾として、アンテナショップを開設し、Workshop ISSE(フランス)にて9月7日、8日の2日間でオープニングセレモニーを開催しました。日仏合わせて約100名の方にご来場いただき、日本のおいしい産品が新鮮な状態で届くことを、試食等を通して実感していただきました。



(2)雅瑪多運輸(香港)の九龍湾基地が「香港保冷倉庫ライセンス」を取得

ヤマトホールディングス傘下の雅瑪多運輸(香港)有限公司が、九龍湾複合型施設内にある同社九龍湾基地の一部エリアで「香港保冷倉庫ライセンス」(License/Permit:4851800044)※を取得し、温度管理が必要な生鮮食品やワインなどの一貫保冷輸送サービスを本格展開しました。

※ 香港保冷倉庫ライセンス:保冷倉庫内における食品の保管および簡易作業などを許可するライセンス。

香港政府の食物環境衛生署が発行。





(3)「ヤマトビジネスメンバーズ」のサービスが拡充中！

ヤマト運輸が提供する「ヤマトビジネスメンバーズ(以下、YBM)」のサービスメニューに新サービスを追加しました。YBMにご登録のお客さまは、サービス内の申込フォームから簡単に利用を開始できます。

これまでYBMは、2012年1月より、送り状を簡単に発行する機能や請求書や納品書といったビジネス書類を簡単に作成・送信できる機能などをクラウドで提供してきました。2017年12月には、「YBM For Developers」を開設し、さまざまな事業者や開発者向けに“荷物を送る、受け取る”をより便利にするAPIを公開の公開を始めるなど、拡充を続けています。

今回、ヤマトグループ外のサービスと連携することで、出荷担当者以外のお客さまに向けたサービスとして、「PCA商魂DX クラウド」と「動画制作サービス」の2サービスを追加しました。

【営業担当者向けサービス】 PCA 商魂 DX クラウド	【広報・宣伝担当者向けサービス】 動画制作サービス
 <p>■サービスの特徴</p> <p>見積や受注、売上、回収管理などの日常業務、分析など、業務に必要な機能を多数搭載したクラウド型の販売管理システムです。</p> <p>「PCA 商魂 DX クラウド」で登録した売上（受注）伝票を「B2クラウド」に連携することで、宅急便の送り状発行ならびに商品の配送状況確認が可能になります。</p> <p>■サービス提供元：ピー・シー・エー株式会社 開始日：2018年9月27日</p>	 <p>■サービスの特徴</p> <p>動画制作を検討されている企業様に向けたサービスです。</p> <p>採用成功につながるメッセージ動画、CM、商品説明、how-to、各種インタビュー、施設紹介、サービス紹介など、包括的に動画表現を活用し、効果の高いプロモーション動画制作を行います。</p> <p>■サービス提供元：株式会社 Penseur 開始日：2018年9月27日</p>

掲載されている情報に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

ヤマトホールディングス株式会社 広報担当：山本・中田 TEL.03-3248-5822 koho@kuronekoyamato.co.jp